

福井県立三方青年の家(1/2)

三方青年の家は縄文体験 のできる宿泊研修施設です

所在地	三方上中郡若狭町鳥浜122-27-1		
設置年月日	昭和38年5月1日(平成14年4月17日改築)		
施設の種類	宿泊・研修施設	施設管理主体	県
設置の目的	青少年を対象とした各種体験活動や研修会などを開催し、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造3階他、延3,581.77㎡ 宿泊室(120名)、研修室(90名)、多目的ホール(500名)、キャンプ場		
職員数	職員5人		

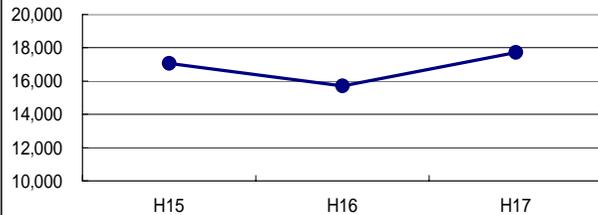
利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	17,056	15,709	17,719

利用者負担(利用料金)等

宿泊料	26歳以上	880円
	26歳未満	530円
	高校生	390円
	小・中学生	270円

利用者数の年次推移



平成17年度の特徴について

事業実績

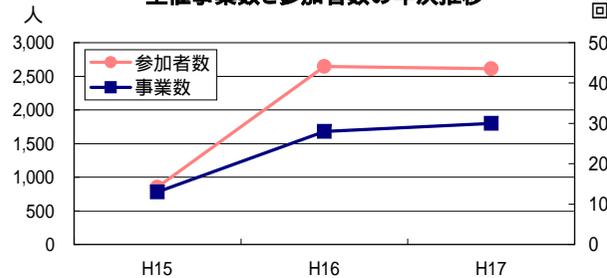
長期間(13泊14日)青年の家や漁家に宿泊しながら、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を行う、長期宿泊体験事業(サマーチャレンジ教室)を実施しました。

毎年、青年の家で合宿練習をしている大阪の音楽専門学校の協力を得て、地元中学校吹奏楽部の生徒との交流や演奏指導、専門学校生によるコンサート(音楽の広場)を実施しました。

このほか、伝統的な季節の食づくり(ちまき作り)、国際理解を深めるためのALTとの交流事業など児童・生徒や青少年を中心とした体験活動、ボランティア養成のための研修会や合宿通学などの主催事業を実施し、主催事業で約2,600人の参加がありました。

また、参加者アンケートの結果では「大変良かった」73%、「良かった」24%と高い評価が得られました。

主催事業数と参加者数の年次推移



主催事業(音楽の広場)



主催事業(ちまき作り)



主催事業(ALT教室)



主催事業(長期宿泊体験)



利用状況 の推移

平成17年度は、イベントや講演会等での多目的ホールの利用者が約3,400人と、平成16年度の約700人から大幅に増加したため、利用者数全体では約13%増の17,719人となりました。

福井県立三方青年の家(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	48,305	39.7%	96.9%
	退職給与引当金繰入	150	0.1%	-
	計	48,455	39.8%	100.0%
物にかかるコスト	物件費	20,018	16.5%	93.1%
	維持補修費	661	0.5%	122.0%
	減価償却費	32,723	26.9%	100.0%
	計	53,402	43.9%	97.5%
その他	公債費(利子)	19,637	16.2%	97.6%
	その他	65	0.1%	22.4%
	計	19,702	16.3%	96.5%
合計		121,559	100.0%	98.3%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	1,539,786	98%	固定負債	1,288,023	94%
投資等	0	-	流動負債	88,068	100%
流動資産	0	-	正味資産	163,695	151%
計	1,539,786	98%	計	1,539,786	98%

施設の特徴

嶺南地区における公共の青少年の宿泊施設は、3施設(若狭湾少年自然の家、敦賀市少年自然の家、三方青年の家)しかなく、低料金で利用できるため、小・中学校の宿泊体験学習やスポーツ少年団、子ども会等の活動の場として幅広く利用され、児童・生徒の体験活動を促進しています。

また、高校の部活動の強化合宿や生徒会のリーダー研修会等でも、年間を通じて利用されています。

三方青年の家は、バリアフリーに設計されており、嶺南地域はもとより、県内外の養護学校や障害者団体に利用されています。

中学生や高校生を中心としたボランティアリーダーの養成、育成の場として活用されています。

近くに位置する県海浜自然センター、若狭町立縄文博物館や学校などとの連携を図りながら、体験活動や研修会などを実施しています。

三方青年の家には、500名を収容する多目的のホールがありますが、周辺地域には多人数が使用可能な施設が少ないこともあり、地域における講演会やイベント会場などとしても活用されています。

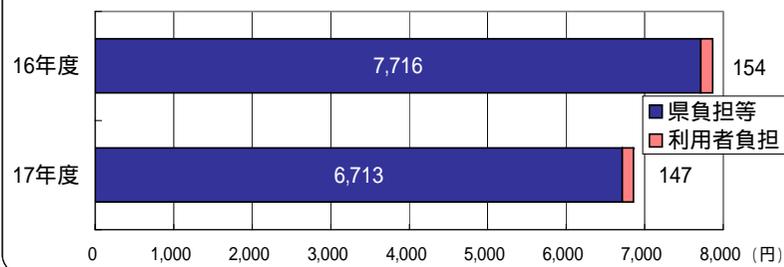
(単位 千円)

収入				
利用料等収入	2,608	2.1%	108.1%	
その他収入	194	0.2%	100.5%	
一般財源	118,757	97.7%	98.1%	

(前年比)

利用料等収入計	2,608,000円	108%
利用者1人あたり平均利用料	147円	95%
利用者1人あたりコスト	6,860円	87%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



三方青年の家全景



今後の事業方針、取組み内容

年間を通じ、週末や放課後における子どもの居場所づくり事業を実施します。

平日の放課後、低学年の子どもたちが集団下校するまでの間、安全に楽しく過ごせるよう青年の家職員による出前事業を実施します。(平成18年度より実施)

施設が湖畔に立地し、縄文博物館に隣接しているという立地特性を活かした各種体験事業や研修などの開発に取組み、利用促進を図っていきます。

バランスシート、行政コスト計算書の特徴

施設の新築移転に伴い、減価償却費や公債費の割合が高くなっています。
利用者の増加により、利用料等の収入も伸びており、利用者1人あたりのコストは減少しています。